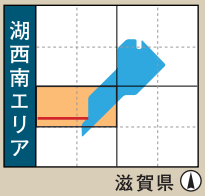
史跡

国指定

琵琶湖疎水（びわこそすい）

大津市三井寺ほか　平成8年6月19日指定



明治期の京都は、明治維新と東京遷都が原因で政治経済の衰退が著しく、この復活の起爆剤として計画されたのが、琵琶湖疎水建設です。工事は、西欧の技術を学んだ日本技術者による大土木工事であり、明治時代中頃の土木技術を示す遺産として貴重です。竣工から100年余りたった今なお、京都に琵琶湖の水を送り続けています。

当時のできごと	
1881年	板垣退助らが自由党をつくる
1894年	日清戦争勃発
1912年	明治から大正へ

琵琶湖疎水について

琵琶湖疎水は、船運・発電・灌漑により京都を活性化するため、明治14年（1881）、京都府知事北垣国道により計画され、当時21歳で新進気鋭の土木技師田邊朔郎を主任技術者とし、明治18年（1885）に第1疎水から工事が開始され、明治23年（1890）に完成しました。また、疎水の水力を利用した、我国初の水力発電所が蹴上に造られ、工業動力や、我国初の電気鉄道に電力を供給しました。

明治41年(1908)には電力供給と水道事業のため第2疎水が着工され明治45年(1912)に完成しました。

史跡に指定されているのは、第1疎水の隧道（トンネル）の出入り口、2カ所の竪坑（たてこう）、インクライン、疎水分線の水路閣などの部分です。



第1竪坑（北西から）

第１疎水について

第1疎水は大津市三保ヶ崎から京都市伏見区までで、全長は約20kmです。工事では3本の隧道が掘られ、特に県内にある第1隧道は2,136mあり、当時の隧道としては最長のもので、2箇所の竪坑を設け4カ所から掘り進むという最新の技術が導入されました。工事は全て人力で行われ、延べ400万人もの人夫が動員されたと記録されています。各隧道の入り口にはそれぞれ意匠の異なった門が造られ、当時の著名人が揮毫した額が掲げられており、第1隧道の入り口には、伊藤博文の「千萬象氣」の額が残ります。



第1隧道入口部（東から）



第2竪坑（南から）

導入された最新技術

琵琶湖疎水の工事には、我国初の土木技術がいくつか登場しています。第1隧道に用いられた、掘削の時間短縮、換気、採光などの目的のために用いられた、竪坑工法。蹴上の水力発電、鉄筋コンクリート橋、インクラインなどです。

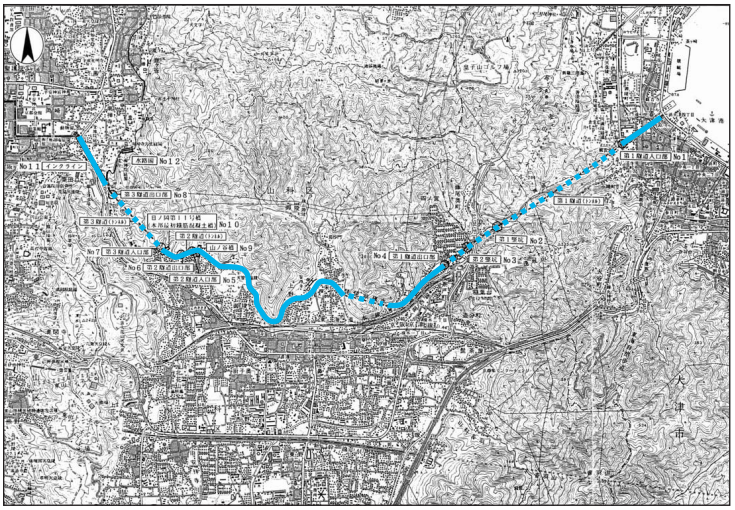
このうちインクラインは、疎水を利用する船を貨物を積んだまま、鉄道レールに設けた貨車に載せて、斜面を上下させるもので、蹴上付近のきつい落差が船運の妨げとならないように工夫した施設です。

〈第１疎水建設に用いられた資材〉

煉瓦1400万個　　木材300万才（1才＝1立方尺）　　セメント3万樽
ダイナマイト類7000貫目に及んだと記録されています。



インクライン（傾斜鉄道）



第1疎水測量図

疏　水　年　表　（概　略）

1881年（明治14年）	2月	北垣国道京都府知事に着任
	8月	三保ケ崎量水標を設置
1883年（明治16年）	2月	島田道生路線測量を完了
	5月	田邊朔郎琵琶湖疎水工事の担当に着任
	11月	勧業諮問会、上・下京連合区会に起工趣意書を諮問
1884年（明治17年）	5月	琵琶湖疏水（第1疏水大津～鴨川及び疏水分線）起工伺を内務卿に提出
1885年（明治18年）	6月	琵琶湖疏水（第1疏水大津～鴨川及び疏水分線）起工式を挙行
1887年（明治20年）	12月	第2トンネル完成
1888年（明治21年）	8月	水路閣完成
	9月	第4トンネル、第6トンネル完成
	10月	田邊朔郎、高木文平とともに水力利用調査のため渡米
1889年（明治22年）	3月	第3トンネル完成
	10月	大津閘門完成
1890年（明治23年）	1月	第5トンネル完成　蹴上インクライン完成
	2月	第1トンネル完成
	3月	琵琶湖疏水（第1疏水大津～鴨川及び疎水分線）完成
	4月	琵琶湖疏水竣工式を挙行
1891年（明治24年）	5月	蹴上発電所完成（我が国最初の水力発電）
1977年（昭和52年）	5月	蹴上インクラインの復元（形態保存）完了
1983年（昭和58年）	7月	南禅寺水路閣及び蹴上インクラインを京都市指定史跡に指定
1989年（平成元年）	8月	琵琶湖疏水記念館開館

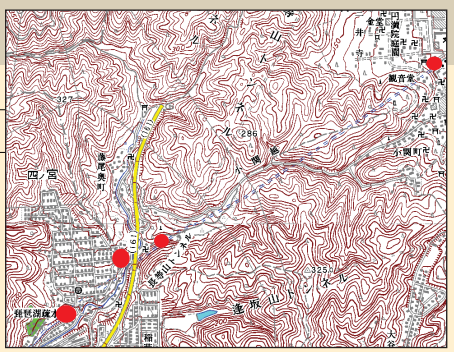
関連する文化財

逢坂山トンネル（大津市）	明治13年に開通した日本人技術者による初の鉄道トンネル
原爆ドーム（広島県広島市）	原爆投下の平和祈念碑的建造物。世界遺産
新橋ステーション（東京都港区）	鉄道事業発祥の駅。史跡

もっと深く知りたい

琵琶湖疎水記念館　☎075-752-2530　京都市左京区南禅寺草川町17

アクア琵琶　☎077-546-7348　大津市黒津4-2-2



琵琶湖疎水へのアクセス

JR琵琶湖線　大津駅下車　JR湖西線　西大津駅下車
京阪電鉄石坂線　三井寺駅下車

【参考文献】〔琵琶湖疎水〕サンブライト出版　〔大津の文化財〕大津市教育委員会

滋賀県教育委員会事務局文化財保護課　　平成16年3月